

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	リハビリテーション医学	講義	3	60	解剖学・生理学 臨床医学各論
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
鍼灸学科 3学年	川村 直紀 錦織 輝礼	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特記事項なし		
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>【教育目標】 本科目では解剖学・生理学・病理学・臨床学総論・臨床医学各論などの知識を基礎として、疾患ごとの障害の内容とそれに基づくADL獲得の方法としてのリハビリテーションの概念を学び、鍼灸臨床においてもADLならびにQOL向上の観点をもった治療方針を立てられることを目指す。</p> <p>【行動目標】 ①本科目履修範囲内から作成された国家試験相当の難易度の多肢選択問題を正答率60%以上で解答できる。 ②代表的な疾患に分けて各々で生じる障害がどのようなものか説明できる。 ③解剖学で履修した運動器の知識に基づいて人体の動作に関わる構造的・力学的な側面を述べられる。</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>リハビリテーションの概念・歴史やリハビリテーション医学の流れについて学習する。 身体測定、ROM、MMTなどは臨床医学総論や臨床実習などで主として取り扱い、本科目では他の評価に注力する。 各疾患のリハビリテーションに関しては臨床医学各論などの内容を基礎として予習しておくことが履修に効果的である。</p>					
教科書・参考書					
<p>社団法人 東洋療法学校協会 編集 土肥信之・他 著「リハビリテーション医学(第4版)」 予定表中のテーマ欄には主として取り扱う教科書該当項目とページ数を【主題】として記載した。【参考】は他の科目でも履修するため本科目においては補助的に取り扱うものとして事前に各自予習しておくことを勧める。</p>					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照 ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡しして下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。（公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします）。 いったん配布した資料の再配布は、資源節約の観点から原則として行いません。なお、これに伴い配布した資料の控えと欠席者分の未配布資料については、当該年度内に限り職員室で保管いたします。授業中に受け取れなかった場合は担任もしくは授業担当者に授業時間外に相談して下さい。紛失等で再配布を希望する場合は、控えを貸出いたしますので当日中に自己負担で複製下さい。</p> <p>【 受講科目受講時留意点 】 ● 毎時間 教科書を持参する事 また、必要に応じて解剖学・生理学の教科書を持参する。 ● 板書しながらの授業になるので、しっかりとノートもとる事。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	定期試験を前期と後期の最低2回実施。難易度は国家試験相当として、合格基準を正答率60%以上とする。問題形式は4者択一の他に、必要に応じて他の形式も出題することもある。			
その他		追加で成績加算対象となる課題や試験を実施する場合は都度事前に告知する。			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		01総論02運動学01バイオメカニクス 運動学,運動力学,てこと関節運動,筋力、モーメント、関節反力の関係 025-031(7)		/	錦織
2		01総論02運動学01バイオメカニクス 運動学,運動力学,てこと関節運動,筋力、モーメント、関節反力の関係 025-031(7)		/	錦織
3		01総論02運動学02機能解剖学 関節(骨の連結),関節運動,筋張力と収縮様態,脊柱・体幹の機能解剖, 上肢帯・上肢の機能解剖,下肢帯・下肢の機能解剖,頭部・顔面の機能解剖 031-059(29)		/	錦織
4		01総論02運動学02機能解剖学 関節(骨の連結),関節運動,筋張力と収縮様態,脊柱・体幹の機能解剖, 上肢帯・上肢の機能解剖,下肢帯・下肢の機能解剖,頭部・顔面の機能解剖 031-059(29)		/	錦織
5		01総論02運動学02機能解剖学 関節(骨の連結),関節運動,筋張力と収縮様態,脊柱・体幹の機能解剖, 上肢帯・上肢の機能解剖,下肢帯・下肢の機能解剖,頭部・顔面の機能解剖 031-059(29)		/	錦織
6		01総論02運動学03運動発達 発達の基本法則,発達段階,発達の枠組み,運動発達,運動発達評価意義, 運動発達検査,原始反射と姿勢反応 059-064(6)		/	錦織
7		01総論02運動学04姿勢制御 重心,安静立位姿勢による重心線,立位姿勢の安定性,立位姿勢と筋活動, 姿勢反射,平衡速動反射,意図的運動と姿勢保持機能,随意運動 064-073(10)		/	錦織
8		01総論02運動学04姿勢制御 重心,安静立位姿勢による重心線,立位姿勢の安定性,立位姿勢と筋活動, 姿勢反射,平衡速動反射,意図的運動と姿勢保持機能,随意運動 064-073(10)		/	錦織
9		01総論02運動学05歩行 歩行周期の概念,正常歩行で観察される特徴的な運動 073-076(4)		/	錦織
10		01総論02運動学06運動学習 記憶,記憶の分類,学習とは,運動学習,運動学習の段階,運動学習の判定, 運動学習の臨床応用 076-080(5)		/	錦織
前期試験(授業外で実施)					

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		1章リハビリテーション医学・医療 01理念・目的002-002(1),02語源・歴史004-007(4),03生活機能分類 007-012(6),04リハビリテーションの分野012-013(2)		/	川村
12		1章リハビリテーション医学・医療 05リハビリテーション医療 013-016(4),06リハビリテーション医療チー ム 016-020(5),07地域リハビリテーション 020-024(5)		/	川村
13		3章診断・評価学 01診断・評価とは 081-083(3),02リハビリテーション診療の流れ 083- 092(10),03検査・測定 総論 092-096(5)		/	川村
14		03検査・測定 各論 ADLの評価 128-131(4),高次脳機能検査 131-131(1),運動発達評価 131-132(2),心理評価 132-135(4),摂食嚥下機能の評価 135-136(2),筋緊 張・片麻痺機能の評価 136-139(4)		/	川村
前期試験(授業外実施)					
15		4章治療学 01運動療法 140-149(10),02物理療法 149-151(3)		/	川村
16		4章治療学 03作業療法 151-155(5),04言語聴覚療法 155-160(6)		/	川村
17		05補装具 義肢 160-166(7),装具 166-171(6),自助具・福祉用具 171-180(10)		/	川村
18		【主題】整形外科疾患01運動器疾患 上肢(リハの要点) 腱板損傷, 肩関節周囲炎,上腕骨近位部骨折,橈骨遠位端骨折 185-197(13) 【参考】同上(基礎知識)182-184(3)		/	川村
19		【主題】整形外科疾患02運動器疾患 下肢(リハの要点) 変形性股 関節症,大腿骨近位部骨折,変形性膝関節症,膝靭帯損傷,半月板損傷,足関節靭帯損傷, アキレス腱断裂 200-216(17) 【参考】同上(基礎知識)197-200(4)		/	川村
20		【主題】整形外科疾患03運動器疾患 脊椎(リハの要点) 頸椎症性 脊髄症,腰部脊柱管狭窄症,椎間板ヘルニア,脊椎椎体骨折 217-227(11) 【参考】03運動器疾患 脊椎(基礎知識)216-217(2)		/	川村

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		【主題】整形外科疾患04脊髄損傷(リハの要点) 231-235(5) 【参考】04脊髄損傷(基礎知識) 227-231(5)		/	川村
22		【主題】整形外科疾患05切断235-241(7)		/	川村
23		【主題】整形外科疾患06関節リウマチ(リハの要点) 244-246(3) 【参考】06関節リウマチ(基礎知識) 241-244(4)		/	川村
24		【主題】神経疾患 01脳血管障害(リハの要点) 260-272(13) 【参考】01脳血管障害(基礎知識) 250-259(10)		/	川村
25		【主題】神経疾患(下記の疾患のリハの要点) 02パーキンソン病276-278(3),03脊髄小脳変性症・多系統萎縮症280-281(2),04筋委縮性側索硬化症282-285(4),05末梢神経障害289-290(2),06ポリオ(急性灰白髄炎) 290-291(2) 【参考】以下の疾患の基礎知識02パーキンソン病272-276(5),03脊髄小脳変性症・多系統萎縮症278-280(3),04筋委縮性側索硬化症281-282(2),05末梢神経障害 285-288(4),06ポリオ(急性灰白髄炎) 290-290(1)		/	川村
26		【主題】内部障害 01虚血性心疾患(リハの要点) 295-298(4),02呼吸器疾患(リハの要点) 302-304(3) 【参考】01虚血性心疾患(基礎知識) 290-295(6),02呼吸器疾患(基礎知識) 298-302(5)		/	川村
27		【主題】内部障害 03糖尿病(リハの要点) 309-311(3),04腎・尿路疾患(リハの要点) 315-317(3) 【参考】03糖尿病(基礎知識) 304-309(6),04腎・尿路疾患(基礎知識) 312-315(4)		/	川村
28		【主題】がんリハビリテーション治療の要点324-335(12) 高齢者に多くみられる疾患01骨粗鬆症(リハの要点) 337-337(1),02廃用症候群(リハの要点) 345-347(3),03認知症(リハの要点) 351-352(2) 【参考】がんの基礎知識治療318-323(6),01骨粗鬆症(基礎知識) 336-337(2),02廃用症候群(基礎知識) 338-345(8),03認知症(基礎知識) 347-351(5)		/	川村
29		【主題】小児疾患 01脳性麻痺(リハの要点) 357-358(2),02,1筋ジストロフィー症(リハの要点) 360-360(1),02,2二分脊椎(リハの要点) 361-361(1) 【参考】01脳性麻痺(基礎知識) 353-356(4),02,1筋ジストロフィー症(基礎知識) 358-360(3),02,2二分脊椎(基礎知識) 361-361(1)		/	川村
30		予備		/	川村
後期試験(授業外実施)					